

平成29年度 宮崎県立みやざき中央支援学校 学校関係者評価書

4段階評価

4 (A) と思う 3 (B) どちらかというと思う 2 (C) どちらかというと思わない 1 (D) そうは思わない

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果コメント	自己 評定	学校関係者 評定	学校関係者評価コメント															
学校経営	① 学校は、教育方針をわかりやすく伝えることができたか。	<p>○PTA総会や学校行事、学級通信や懇談等をとおして、教育方針をわかりやすく伝えることができた。</p> <p>○連絡帳や学級通信、PTA新聞、学校、寄宿舎懇談等により保護者と連携して指導ができた。</p> <p>○家庭支援が必要な児童生徒については、関係機関との連携を図ることができた。</p> <p style="text-align: center;">保護者アンケートより (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>評価</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>①</td><td>47</td><td>51</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>②</td><td>55</td><td>42</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table>	評価	4	3	2	1	①	47	51	2	0	②	55	42	3	0	3	3	<p>学級通信や各種だよりで学校行事や季節ごとの指導内容を知ることができた。HPも適宜更新され、話題の提供を充実していたと思われる。</p> <p>それでも、2%の保護者がどちらかというと思わない。と回答していることから、少人数の意見も具体的に取り入れて改善していくことが望まれる。</p>
	評価		4	3	2	1														
①	47	51	2	0																
②	55	42	3	0																
② 学校、家庭、寄宿舎が連携して効果的な指導をすることができたか。																				
教育課程	① 児童生徒や保護者の教育的ニーズに応じた個別の指導計画を作成し、指導に活用することができたか。	<p>○個別の指導計画の作成や活用をとおして、児童生徒や保護者の教育的ニーズに応えることに努めた。</p> <p>○児童生徒の実態に応じた教材教具の工夫や、タブレット端末等の情報機器を活用した支援も行っている。</p> <p style="text-align: center;">保護者アンケートより (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>評価</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>①</td><td>58</td><td>40</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>②</td><td>47</td><td>47</td><td>6</td><td>0</td></tr> </table>	評価	4	3	2	1	①	58	40	2	0	②	47	47	6	0	4	4	<p>学期ごとの終業日に個別面談をして、進路指導をしてもらっているのが良い。</p> <p>民間からの寄贈のあったタブレットの活用も認められた。</p> <p>連絡帳の在り方を工夫すれば、放課後デイサービスと家庭と学校が連携し、記録を残すことができると提案した。</p>
	評価		4	3	2	1														
①	58	40	2	0																
②	47	47	6	0																
② 学習効果を高めるための教材教具の工夫や改善をすることができたか。																				
教育活動	① 児童生徒は学校に行くのを楽しみにしているか。	<p>○登校しやすい雰囲気づくりや特性を考慮した指導・支援に努め、多くの児童生徒が学校での学習等を楽しみに登校することができている。</p> <p>○児童生徒の実態に合わせて目標を設定し、授業における指導方法等を創意工夫して指導を行うことに努めた。</p>			<p>部活動では土日も生徒の指導をもらっており、大変ありがたい。</p> <p>合同チームの駅伝、バスケットの九州大会、美術展等多岐にわたる活躍が見られた。</p>															
	② 学校は、児童生徒の各課題に応じた指導を行うことができたか。																			

	<p>③ 職業理解のための情報を保護者や児童生徒に提供することができたか。</p>	<p>○就労している卒業生や卒業生の保護者の講話を聞く研修会を複数回設け、進路につながる具体的で興味・関心の高い情報を提供した。 ○担任と進路支援部が連携して、児童生徒一人一人に適した指導や情報提供に努めた。また進路研修や進路だよりの充実を図ることができた。</p> <p>保護者アンケートより (%)</p> <table border="1" data-bbox="887 472 1301 647"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>72</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>60</td> <td>38</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>41</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>44</td> <td>43</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	評価	4	3	2	1	①	72	24	4	0	②	60	38	2	1	③	41	47	10	2	④	44	43	9	4	3	4	<p>参観日に保護者説明のためのブースを設けて、福祉・介護・年金などのテーマで保護者が選択できる取組を提案した。</p> <p>行政などの基本的な福祉の制度を説明してもらえる場があれば、高等部から入学した生徒・保護者も進路相談がし易くなると思われる。</p>
評価	4	3	2	1																										
①	72	24	4	0																										
②	60	38	2	1																										
③	41	47	10	2																										
④	44	43	9	4																										
<p>研修・研究</p>	<p>① 職員研修の内容は適切であり、専門性や資質の向上を図ることができたか。</p> <p>② 課題研究の内容は適切で、今後の指導に役立てるための研究を行うことができたか。</p>	<p>○校内の職員研修として、外部講師や本校のコーディネーターを活用して、専門性向上や障がいの特性について研修を深めた。 ○コンプライアンス研修を年2回実施した。 ○「共に生きる力」を育む「あたらしい指導と支援づくり」～学部間連携を中心とした授業改革～をテーマに、実践研究に取り組み、校内研究のグループごとに職員の主体的な学び合いを基調とした授業研究会を計画的に実施することができた。</p>	3	3	<p>保護者の意識づけを図る研修や講話が精力的に行われたことを評価したい。</p> <p>授業研究や研究部による全体報告会も実施されていると聞いている。 メンターチームによる初任者研修も始まった。今後も更なるスキル向上を期待したい。</p>																									
<p>地域交流</p>	<p>① 学校間交流や居住地交流を実施して、近隣の小中学校等の交流活動を行うことができたか。</p> <p>② 地域社会の人材や自然、文化的な環境を教育活動に活用できたか。</p>	<p>○学校間交流については計画に沿って実施して、交流や学習を深めることができた。積み重ねが啓発や深まりにつながっている。居住地校交流は、小学部10名、中学部7名が希望して実施した。高等部では佐土原高校との交流(心のバリアフリー)に取り組んだ。 ○校外学習をとおして地域の交流や資源を活用した学習ができた。また、かわせみ座を招きお面作りや人形劇をとおして、文化芸術にふれる機会が持てた。</p>	3	4	<p>昨年度今年から高体連への加入が実現した。高等部の交流も始まった。 地域の人材や会社の出前授業などをとおして、企業も社会貢献をめざしている。是非活用して欲しい。 銀行や製造業のスキルは生徒への刺激になると思う。</p>																									

施設・設備・環境	① 施設や設備（遊具）を、安全に管理・維持することができたか。	○学期毎に学校施設や遊具等の安全点検を行っている。PTA役員との共同点検も実施した。補修や改善も計画的に行っており、基本的な建造物の安全は管理できている。 ○防災マニュアルを整備して、災害時の避難訓練を実施するとともに、児童生徒の引き渡し訓練を行った。全家庭への配信に向けて、メールの加入率の向上を図った。（加入率88%） ○宮崎市の福祉避難所の対応について、市から担当者を招き、研修会を実施して周知を図った。 保護者アンケートより（%）	4	4	ミサイル対応の検討もしてもらっていることを評価したい。 学校だけでなく、寄宿舎でも災害時や非常時の避難訓練や救急処置の対応訓練がなされ、引き渡し訓練も成果が見られた。宮崎市の福祉避難所の役割を果たすためにも、訓練が必要だと思う。 マニュアルは定期的に見直しをすることが求められる。											
	② 災害や不審者対応等の緊急時の対応を整備することができたか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>45</td> <td>48</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>50</td> <td>40</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>				評価	4	3	2	1	①	45	48	6	1	②
評価	4	3	2	1												
①	45	48	6	1												
②	50	40	8	2												
説明責任	① 保護者に学校や学部（学級）の情報を伝えることができたか。	○学級・学年通信・保健たよりや図書たより等で保護者に必要な情報を伝えることができた。 ○地域への情報発信としては、校外での児童生徒の作品展や学校HP等で発信している。HP更新の頻度を高めて最新の情報提供に努めている。 保護者アンケートより（%）	3	3	各種の通信やたよりはもちろん、みや央メール（防災メール）での適切な情報発信がされて、保護者も安心して子供を預けることができた。 HPの更新も頻繁になされており、地域や関係機関への情報提供も適切であった。											
	② 地域・関係機関に学校の取組や必要な情報を伝えることができたか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>52</td> <td>43</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>30</td> <td>57</td> <td>12</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				評価	4	3	2	1	①	52	43	5	0	②
評価	4	3	2	1												
①	52	43	5	0												
②	30	57	12	1												
センター的役割	① 地域の小・中学校等を対象に特別支援教育に関する相談・情報提供をすることができたか。	○平成29年11月17日に地域の特別支援教育力を高めるため、幼・保・小・中・高等学校等の特別支援教育担当者を対象としたROS（リレーションオープンスクール）を実施した。前年度に比べ参加者が倍増した。（77名）	4	4	ROSの参加者が今後も増加するように、開催日や授業公開の内容の工夫をして欲しい。そして、参加者同志がつながり、児童・生徒に還元できることを期待したい。											
	② 福祉や医療関係機関等との連携を図ることができたか。	○福祉、医療関係者にケース会への出席、医療面でのサポートをお願いしている。そして、保護者を含めた相互理解の解決を図っていけるように努めている。														